

オオバタケシマラン

Streptopus amplexifolius (L.) DC. var. *papillatus* Ohwi
ユリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

奥越の深山の一部にのみ分布し、個体数も少ない。

分 布

北海道～本州（中部以北）に分布。県内では奥越の深山～亜高山の一部に分布。

種の特徴

深山のブナ林などの林床に生える多年草。茎は高さ 50～100 cm、2～3 回枝分かれする。葉が茎を抱く点でタケシマランと区別できる。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ヒメタケシマラン

Streptopus streptopoides (Ledeb.) Frye et Rigg subsp. *streptopoides*
ユリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

奥越の深山の一部にのみ分布し、個体数も少ない。

分 布

北海道から本州（中部以北）に分布。県内では奥越の深山～亜高山の一部に分布。

種の特徴

低山～亜高山帯の林内に生える多年草。茎は高さ 15～30 cm。葉は互生し、柄はほとんど無いが茎を抱かず、葉縁に柱状突起がある。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

エビネ

Calanthe discolor Lindl.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

里地・里山の林床に生える。県内では生育地が限られており、個体数が減少している。生育環境の変化で個体が減少していること、園芸目的の採取による影響が強く、群落が減少する可能性がある。

分 布

北海道～九州に分布。県内では里地・里山の林床に生える。嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

種の特徴

葉は長卵形で縦筋が入る。常緑で長さ 20 cm、幅 5 cm くらいあり、縮れている。葉の数は 3～4 枚で、地際から生える。花茎は長さ 20～30 cm、茎頂に花を数個つける。花の色は茶褐色、緑褐色、緑白色など変異が多い。花は花弁 3 枚と萼片 3 枚からなる。

生育を脅かす要因

生育地の環境悪化、道路工事等により生育地が減少している。園芸目的の採取により、自然状態での個体数の減少に追い打ちがかかっている。また、他府県ではシカによる食害が確認されている。

参考文献

福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○	○			○			○			○	○	○